

## おわりに

このたび、奈良教育大学は、研究に関する外部評価を実施し、その成果を刊行することになりました。

本学では、平成16年度の法人化時に、以下の中期計画を掲げました。

- ・ 教育現場や社会での実践と応用により、研究の水準・成果を検証する。検証は自己による評価とともに、社会的効果・意義を外部評価を含めて実施する。

これを具体化すべく、本学は第1期中期目標期間の最終年度において、外部評価委員会を開催いたしました。評価の方法は、第1期期間中での主な学長裁量経費研究プロジェクトを対象として、事前の配付資料と当日の発表を基に研究の水準・成果について社会的効果・意義を評価いただきました。同時に、国立大学法人として本年6月末までに独立行政法人 大学評価・学位授与機構（以下、機構）に提出が要請されている『卓越した水準にある研究業績（SS）』の候補の論文につき、ご意見をいただく事も含めました。

今回の外部評価のあり方が構想された背景として、平成20年度において、文部科学省からの要請を受けて機構が実施した、いわば包括的な研究に関する評価がありました（「教育研究評価」）。そこで、本学が独自に実施する外部評価の方法としては、中期計画及び教育大学の使命を踏まえて計画され、実施されている学長裁量経費研究プロジェクトの水準・成果を第1期中期目標期間の終了時において検証することが適切であり、かつ必要であると判断いたしました。

外部評価委員会の委員には近畿及び東海の教育大学より推薦をいただいた6人の先生方に就任いただきました。この先生方には、事前配付の報告書や業績資料の吟味・査読から、委員会での慎重な審議に至るまでたいへんなお手数をおかけしました。そして、忌憚のない、かつ建設的なご意見を賜りました。

本学として、これらを真摯に分析・検討し、第2期中期目標期間での研究全般の改善・充実の糧とさせていただく所存です。

客観的な目で本学の研究を見渡していただき、我々が十分に考慮できていない点への御指摘や御意見を賜り、身の引き締まる思いでございます。

最後に、6人の外部評価委員の先生方には、本学のために労を執っていただいたことに感謝いたします。同時に、委員長として本外部評価を進めていただきました大阪教育大学の木下百合子先生に厚く御礼申し上げます。

平成22年3月

国立大学法人奈良教育大学  
学 長 長 友 恒 人